

市民との意見交換会取りまとめシート

開催地区： 水無瀬 中学校区	開催場所：陶原公民館
開催日： 平成31年1月23日(水)	開催時間：午後7時～午後8時30分
出席議員：白井淳 長江公夫 三木雪美 山田伸夫 水野良一 池田信子	参加人数： 19人

広報広聴協議会 広聴部会長 宛

市民との意見交換会を実施した結果を報告します。

報告者 白井 淳

項番	中分類	小分類	発言の背景・意図	優先項目
1	害獣対策について	イノシシが出没するので対策をして欲しい	陶原小学校の北側山林の管理を適切におこない、イノシシが出没しない環境を作って欲しい。具体的には、山林内を見通しが出来るようにすれば、イノシシは出てこない。	○
2	水道事業について	水道事業の民営化について	水道事業は行政が責任を持って行うべきであり、かえって民間に任せるほうが費用等多額になってしまうのではないかと懸念。	○
3	自治会活動等のボランティアについて	地域の様々な活動を支えるボランティア等の担い手がいない。	高齢化により担い手が不足しており、若い世代の人たちを地域に向けさせる必要がある。また町内会等の自治会活動について、会長等には報酬を考えていくべきではないかと懸念。	○
4	公共施設の老朽化	陶原公民館等老朽化が著しい	修繕のための費用も多額となってきた。今後のことも含めて考えたい。	
5	小中一貫校整備に伴う跡地利用	廃止される学校の跡地利用について	売却や賃貸等を行い、収入を得られるように有効活用して欲しい。	
6	瀬戸サイトについて	瀬戸サイトの活用をどのように考えているのか	民間業者等に開発してもらって、若い世代の人たちに住んでもらうことも一考ではないかと懸念。	
7	防災対策について	災害時の備蓄品について	乳児用の液体のミルクの供給を受けても現実に利用できないのでは意味が無い。災害時に利用できるような方策が必要ではないかと懸念。	
8	小中学校の部活について	部活動について、各地域によって様々である	地域において、学校施設利用に突き格差が生じているのではないかと懸念。利用のルール等を越えてクラブ活動を行っているところもあり、施設の利用を公平にすべきではないかと懸念。	
9	赤津ICについて	赤津ICのパーキングエリアからの出入り口の設置について	パーキングエリアからの出入りが可能となれば、より利便性が向上し、地域の活性化に津もつながる。	
10	野良猫について	野良猫と地域猫について対策が必要である	野良猫の去勢手術にたいして、助成制度を設けるなどの対策が必要であると懸念。	
11	教育長不在の瀬戸市の教育を危惧している	詳細の説明	教育長辞任の経緯や後任人事について、市民に説明してほしい。	
12	教育長不在の瀬戸市の教育を危惧している	影響が心配	小中一貫校開校前に教育長不在で影響がないのか心配である。	
13	教育長不在の瀬戸市の教育を危惧している	議会の対応	議会としての対応にも不安を感じる。教育長が辞任するほどのことであつたのか。議会として何とかできなかったのか。	
14	納税できる産業としての地場産業への支援	産業の将来像	瀬戸市の産業の将来像は大丈夫なのか心配である。	
15	納税できる産業としての地場産業への支援	地場産業への支援	地場産業として、瀬戸物への支援として力を与えてほしい。	
16	納税できる産業としての地場産業への支援	瀬戸サイトの利活用	利活用の方法を示してほしい。そして、瀬戸サイトにある、貴重なデータをデジタル化して後世に残してほしい。	
17	災害時に対応できる瀬戸市在住の職員	瀬戸市在住の職員	市の職員が他市町にいる場合が多く、災害時対応は大丈夫であるのか。	
18	災害時に対応できる瀬戸市在住の職員	職員研修	市職員が避難所で、役に立つ研修も必要。	